

次期総合計画の基本フレーム

資料3

【次期総合計画の策定方針】

- 本県を取り巻く環境は、人口減少・超少子高齢化、国際情勢の不安定化、物価上昇、人手不足、災害の激甚化といった諸課題に加え、成長産業の集積、共生社会の実現、ワンヘルスの推進といった新たな潮流が複雑に絡み合い、大きな転換期を迎えている。
- 特に、今後、本県においても人口減少と高齢化が進み、地域経済や医療・福祉、公共交通、地域コミュニティなど、社会を支える担い手の不足が一層深刻になることが見込まれる。
- 次期総合計画は、こうした厳しい現実を正面から捉え、限られた人材や財源の中で、県民生活と社会経済の活力をいかに維持・発展させるかを、計画策定の出発点とする。

1

次期総合計画の基本フレーム

【次期総合計画の策定方針】

- 第1部では、本県が直面する構造的な課題と発展の可能性を明らかにし、第2部では、これらを踏まえた重点的かつ実効性のある政策の方向性を示す。
- その上で、福岡県の未来を切り拓くため、これまでの延長線上にとどまらない、大胆かつ創造的な発想で策定する。
- 中長期に目指す姿を明確にしつつ、直近の社会経済状況の変化にも柔軟に対応できる、しなやかで強靱な計画とする。
- 県民、事業者、市町村、教育機関、NPOなど、あらゆる主体と共有できる、分かりやすい計画とし、県の最上位計画として大きな方針を明確に示すことに重点を置く。

2

全体構成

【全体構成の策定方針】

- 次期総合計画の策定方針を踏まえ、福岡県が何を目指すのかを示す「第1部：基本構想編」と、その実現に向けてどの政策分野で何を進めるのかを示す「第2部：政策展開編」の2部構成とする。
- これにより、県民や事業者等の全ての主体が共有する将来ビジョンと、それを実現するための施策、分野ごとの基本的方向性を明確に整理し、理解と実践を促す。

3

第1部 基本構想編

【福岡県が何を目指すのかを示す「羅針盤」】

- 社会経済状況が変化しても揺るがない、本県の目指す姿と県政推進の基本的方向性を示す。
- 人口減少や担い手不足をはじめ、本県が直面する構造的な課題と、成長産業の集積など、本県が有する発展の可能性を明らかにする。
- 人口ビジョンを踏まえ、計画期間を通じて共有する将来像と県政推進の柱を明らかにする。
- 5年後に県民の暮らしや社会がどのように変わったのか、その成果を示す数値目標をKGIとして設定する。
- 県、県民、事業者、市町村、教育機関、NPOなど、ALL福岡で共有する羅針盤となる構想とする。

4

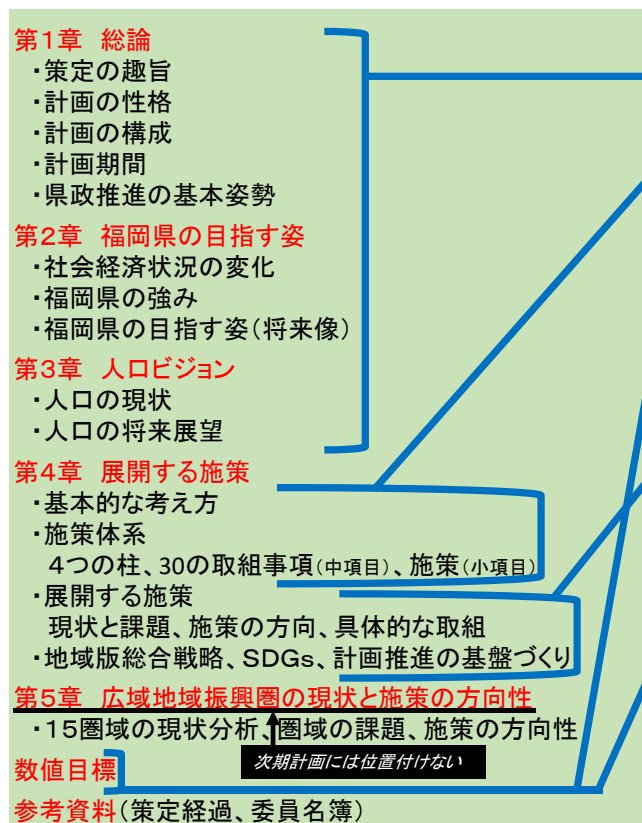
第2部 政策展開編

【将来像の実現に向けた「政策の設計図」】

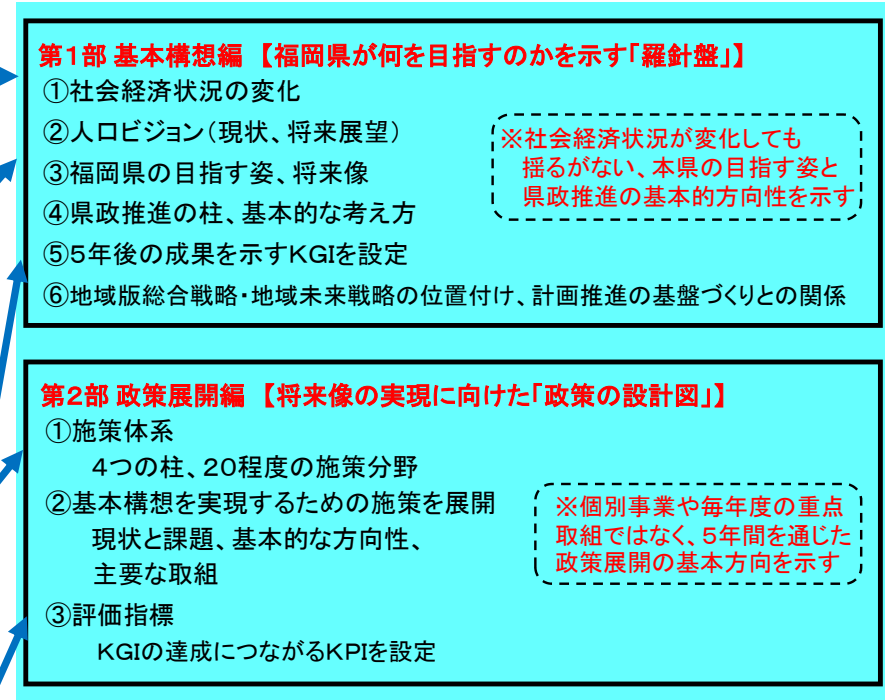
- 基本構想を実現するため、4つの柱に基づく施策体系と、各分野における5年間の政策展開の基本方向を示す。
- 分野ごとの現状と課題、基本的な方向性、主要な取組、KGIの達成につながるKPIを示す。
- 人口減少、成長産業、地域間格差、防災・減災、共生社会などの課題を具体的な政策分野に落とし込むとともに、DX・AIやワンヘルスなどの横断的な視点を各分野に反映する。
- 個別事業や毎年度の重点取組ではなく、5年間を通じた政策展開の基本方向を示す。
- 進捗状況の評価・分析の結果を、政策展開や翌年度の予算編成の検討に活用する。

5

現総合計画の全体構成



次期総合計画の全体構成(2部構成)



次期総合計画の将来像、県政推進の柱の検討

- 次期総合計画の将来像や県政推進の柱を検討するにあたって、次の資料を基礎データとして整理した。

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ①R8年度予算 | ②服部知事の選挙公約(2期目) |
| ③現総合計画の構成・進捗状況 | ④社会経済状況の変化 |
| ⑤令和7年度に実施された知事インタビューの整理結果 | |

- これらを踏まえ、「人」をど真ん中におく姿勢、人のチャレンジへの支援、産業や地域におけるエコシステムの形成、など共通する県政の方向性を抽出した。
- あわせて、産業人材の不足、県内人口偏在の是正、地域の「極」の形成、ウェルビーイングの向上、ワンヘルスの推進など、現計画策定後の社会経済状況の変化への対応を加味し、次期計画の将来像と県政推進の柱を検討した。

7

知事インタビューの整理結果

令和7年度に実施された知事インタビュー10件について、頻出語や政策テーマの傾向を整理した。

【(1)頻出ワードの上位5項目】

	ワード	合計回数	主な文脈
1	人・人材・担い手	358回	人こそ財、育成、教育、リーダー、可能性
2	産業・スタートアップ	240回	経済発展、エコシステム、半導体、農林水産
3	地域・福岡・九州	215回	地方創生、拠点、ゲートウェイ
4	連携・協力	160回	産学官連携、市町村連携、国際交流、伴走
5	教育・リスキリング	135回	育成のツール、環境整備、スキル獲得

8

知事インタビューの整理結果

【(2) 政策テーマの傾向】

- 全体を通じて、「産業や地域の成長は、その担い手となる「人」の成長と一体である」という考え方が一貫している。
- どのような施策においても、「それを担うのは誰か」、「その人たちが力を発揮するためにどのような環境が必要か」という視点が重視されている。
- 施策展開上の基本要素として、「産業・拠点などのハード」、「人材育成・教育などのソフト」、「挑戦を後押しするマインド」を一体的に進めることが重要。
- 近年は、個別の産業振興に加え、地域間格差の是正、成長の成果の県全体への波及、ワンヘルスなど、より構造的・横断的な視点が強まっている。
- 福岡市の一極集中のリスクも踏まえ、福岡県全体の力を高めるため、市町村や地域との連携、地域の「極」の形成など、県全域を見据えた取組が重要。

9

将来像、目指す姿

人が拓く、誰もが挑戦できる豊かな福岡県 —世界を惹きつけ、日本の成長を牽引する—

- ・ 「人」が持つ可能性を信じ、一人ひとりが主役となって、福岡県の未来を共に切り拓いていく。
- ・ ここでいう「挑戦」とは、起業や新事業への挑戦に限らず、学び、働き、子育てをし、地域で暮らし続けることなど、一人ひとりが自分らしく前に進むことを含む。
- ・ 誰もが自分らしく学び、働き、暮らし、挑戦できる環境を整え、その力を経済の成長と県全域の発展につなげる。
- ・ その積み重ねにより、国内外から、人、企業、投資、知恵を惹きつける成長の拠点となり、日本の発展を牽引する。
- ・ 国内外との交流や連携によって生み出される成長の成果を県内全域へ波及させ、県民一人ひとりが物質的にも精神的にも豊かさを実感できる福岡県を築く。

10

県政推進の柱

【目指す姿】人が拓く、誰もが挑戦できる豊かな福岡県
—世界を惹きつけ、日本の成長を牽引する—

【県政推進の柱の策定方針】

福岡県が目指す姿を実現するため、人口減少・超少子高齢化、成長産業の集積、地域間格差、災害の激甚化、共生社会の実現、ワンヘルスの推進など、社会経済状況の変化を踏まえ、県政推進の柱を次の4つに整理する。

【県政推進の4つの柱】

- 1 人が育ち、共に支えあい、誰もが未来へ挑戦できる
- 2 産業と人材が育ち、経済の成長サイクルをつくる
- 3 地域が結び付き、相互に発展する
- 4 安全・安心で心豊かに暮らせるまちをつくる

11

県政推進の柱 （1）

人が育ち、共に支えあい、誰もが未来へ挑戦できる

- ・ 「人こそが最大の財産」という考えのもと、こどもや若者をはじめ、全ての人が未来へ向かって挑戦できる環境を整え、福岡県の未来を切り拓く主役である「人」を育てる。
- ・ 結婚、妊娠・出産、子育て、教育、就職、学び直しなど、ライフステージに応じた切れ目のない支援を進める。
- ・ 年齢、性別、障がいの有無、国籍にかかわらず、全ての人が互いの個性と人権を認め合い、自分らしく暮らし、社会に参画できる共生社会を実現する。
- ・ 医療、介護、福祉、困難を抱える人への支援など、県民の暮らしを支える基礎的なサービスを持続可能な形で確保する。

12

県政推進の柱 （２）

産業と人材が育ち、経済の成長サイクルをつくる

- ・ 人々の挑戦から生まれるイノベーションを、産業の成長へとつなげる。
- ・ 半導体、自動車、水素、バイオ、宇宙などの先端・成長産業や、スタートアップ、観光産業の発展を促進する。
- ・ 地域経済の主役である中小企業の稼ぐ力と経営力を高めるとともに、農林水産業のブランド化、輸出拡大、生産性向上を進める。
- ・ 人口減少に伴う人手不足が深刻化する中、若者、女性、高齢者、障がいのある方、外国人など、働く意欲のある多様な人材が、それぞれの希望や能力に応じて活躍できる環境を整え、産業や県民生活を支える人材を確保する。
- ・ 産業の高度化を支える人材を育成・確保し、企業の成長、良質な雇用、所得の向上が相互につながる「経済の成長サイクル」を確立する。
- ・ 脱炭素やワンヘルスの理念・取組を活かし、関連する技術、製品、サービスの開発や事業化を促進し、新たな産業の創出と企業の競争力強化につなげる。

13

県政推進の柱 （３）

地域が結び付き、相互に発展する

- ・ 福岡市・北九州市をはじめとする都市の活力を県全域へ波及させるとともに、各地域の個性や資源を活かし、自律的で活力ある地域をつくる。
- ・ 雇用、生活サービス、交流などの機能を備えた地域の「極」を形成し、広域的な交流と連帯を深めることで、「福岡県の総力」を高める。
- ・ 成長産業の立地や物流機能の強化を支える道路、港湾、空港、産業用地、工業用水等の基盤整備を戦略的に進める。
- ・ 公共交通や生活サービスの維持・活性化を図り、人口減少が進む地域においても、安心して暮らし続けられる地域づくりを進める。
- ・ 人口減少を見据え、施設、サービス等の規模や配置を見直しながら、デジタル技術や広域連携等を活用し、必要な機能とサービスの質を維持・向上する。
なお、公共施設の具体的な配置や管理のあり方については、行政改革大綱や財政改革プラン等との役割分担を踏まえて検討する。

14

県政推進の柱 （４）

安全・安心で、心豊かに暮らせるまちをつくる

- ・ 全ての人や事業者の活動を支える、安全で持続可能な暮らしの基盤を築く。
- ・ 防災・減災、県土強靱化、気候変動への適応、脱炭素・循環型社会の構築を進める。
- ・ 豊かな自然や生物多様性を守り、人と自然が共生する環境を次世代につなぐ。
- ・ スポーツや文化芸術の力で、県民の心身の健康や地域の活力を高め、一人ひとりが生きがいや幸せを実感できる社会を実現する。
- ・ 生活安全、交通安全、防犯対策などを推進し、安全で安心して暮らせる地域社会を実現する。

15

施策体系

【施策体系の策定方針】

- 4つの柱に基づき、20程度の施策分野を設定する。
- 各分野には、取組の方向性とKGIの達成につながるKPIを設定し、進捗を把握する。

【DX・AIとワンヘルスの取り扱い】

(1)DX

- ・ 人口減少と人手不足が進む中、一人ひとりの能力を最大限に発揮し、限られた人材で社会を支えていくことが求められる。このため、AIを含むデジタル技術を活用し、行政サービス、産業、医療・福祉、教育、地域交通など、あらゆる分野の生産性と利便性を高める。
- ・ AIについては、単なる業務効率化にとどまらず、人の判断や創造性を支援し、新たなサービスや産業を生み出す基盤として活用する。その際、個人情報の保護、情報セキュリティ、誤情報や偏りなどのリスクにも適切に対応する。
- ・ このため、DXを、各分野の施策を加速し、その効果を高めるための共通の取組として位置付け、その中核的な技術の一つとしてAIを積極的かつ適切に活用する。

16

施策体系

【DX・AIとワンヘルスの取り扱い】

(2) ワンヘルス

- ・ ワンヘルスについては、人の健康、動物の健康、環境の健全性を一体的に捉え、医療、保健、農林水産、環境、教育、産業などの各分野から課題の解決に取り組む。
- ・ このため、ワンヘルスを、各分野に共通する横断的な理念・アプローチとして位置付ける。各施策分野におけるワンヘルスの具体的な反映内容については、今後の素案策定の中で整理する。

17

柱1 人が育ち、共に支えあい、誰もが未来へ挑戦できる

人の成長と挑戦

	施策分野	取組の方向性
1	ライフステージに応じた結婚・子育ての切れ目のない支援	出合いや結婚から、妊娠・出産、子育てまでを「連続したもの」と捉え、支援の空白をなくすことで、希望する人が安心して結婚し、子どもを産み育てることができる環境をつくる。
2	教育の充実と若者の挑戦支援	①変化の激しい社会を生き抜くこどもたちの力を育む。 ②若者が失敗を恐れず、自らの夢や目標に向かって挑戦できる環境を整える。
3	ダイバーシティの推進と共生社会の実現	年齢、性別、障がいの有無、国籍にかかわらず、全ての人が互いの個性と人権を認め合い、自分らしく暮らし、能力を発揮できる共生社会を実現する。

18

柱1 人が育ち、共に支えあい、誰もが未来へ挑戦できる

人の成長と挑戦

	施策分野	取組の方向性
4	地域福祉と介護の充実	健康づくりや介護予防、地域包括ケアを推進するとともに、介護サービスや障がい福祉の充実を図り、住み慣れた地域で尊厳を持って自分らしく暮らし続けられる体制を強化する。
5	困難を抱える人へのきめ細かな支援	経済的困窮、孤立、ひきこもりなど、複合的な課題を抱える人々に対し、行政、地域、専門機関が連携し、誰一人取り残さないセーフティネットを構築する。
6	健康づくりと医療提供体制の充実	①県民一人ひとりの健康づくりや疾病の予防・早期発見を進め、生涯を通じて健康に暮らせる環境を整える。 ②人口減少が進む地域を含め、誰もが必要な医療を受けられる医療提供体制を確保する。

19

柱2 産業と人材が育ち、経済の成長サイクルをつくる

人の成長・挑戦から経済の成長へ

	施策分野	取組の方向性
7	先端・成長産業の発展とスタートアップの創出	①半導体、自動車、水素、バイオ、宇宙などの先端・成長産業の競争力を高める。 ②あわせて、スタートアップの創出・育成を進め、絶えず新たな価値を生み出す産業エコシステムを構築する。 ③脱炭素やワンヘルスの理念・取組を活かし、関連する技術、製品、サービスの開発や事業化を促進し、新たな産業の創出と企業の競争力強化につなげる。
8	中小企業の稼ぐ力と経営力の強化	①地域経済の主役である中小企業について、生産性向上、高付加価値化、DX、円滑な事業承継等を進める。 ②あわせて、原材料費やエネルギー価格の上昇を踏まえた適正な価格転嫁を促進し、持続的な賃上げと企業成長の好循環を生み出すことで、厳しい経営環境の中でも成長できる経営基盤を確立する。
9	農林水産業の稼ぐ力の強化と持続的成長の実現	本県の基幹産業の一つである農林水産業について、生産構造の改革、ブランド化、輸出拡大、スマート化等を推進し、若者が夢を持って参入できる、収益力の高い持続可能な産業へと発展させる。

柱2 産業と人材が育ち、経済の成長サイクルをつくる

人の成長・挑戦から経済の成長へ

	施策分野	取組の方向性
10	地域と調和した観光産業の発展	地域資源の魅力を磨き上げ、地域経済への波及効果が高く、地域と調和した質の高い観光地づくりを進め、持続可能な観光産業の発展を実現する。
11	産業人材の育成と雇用対策の充実	①産業の高度化や成長分野の拡大に応じた専門人材を育成・確保する。 ②あわせて、人口減少に伴い働き手の不足が深刻化する中、若者、女性、高齢者、障がいのある方、外国人など、働く意欲のある多様な人材が、それぞれの希望や能力に応じて活躍できる環境を整備し、産業や県民生活を支える人材を確保する。 ③さらに、良質な雇用と持続的な所得向上につながる労働市場を形成する。

21

柱3 地域が結び付き、相互に発展する

人の挑戦・経済の成長から地域の発展へ

	施策分野	取組の方向性
12	社会基盤の整備と地域ネットワークの戦略的発展	①県民の生活を支える公共交通の維持・活性化を図り、誰もが移動しやすい環境を整備する。 ②あわせて、成長産業の立地、物流機能の強化、観光振興、広域交流の拡大を見据え、道路、港湾、空港、産業用地、工業用水等の基盤整備を戦略的に進めることで、地域間の結び付きを強め、県全体の競争力を高める。 ③また、人口減少を見据え、公共交通や生活サービスについて、広域連携やデジタル技術を活用しながら、効果的な提供体制を構築し、必要な機能とサービスの質を確保する。
13	地域活力の創出と地域共創のまちづくり	①地域独自の資源や魅力を再発見・再編集し、自治体、住民、事業者、NPO等が主体的に関わる「共創」の仕組みにより、自律的で活力あるまちづくりを進める。 ②あわせて、雇用、生活サービス、交流の機能を備え、周辺地域を支える拠点を、それぞれの地域の特性に応じた「極」として形成し、広域的な交流と連帯により地域の活力を高める。
14	移住・定住の促進と地域コミュニティの醸成	暮らす場所として選ばれる地域づくりを進めるとともに、移住者や関係人口が地域になじみ、住民、学生、NPO・ボランティア団体等と共に地域を支え、盛り上げるコミュニティを醸成する。

柱4 安全・安心で、心豊かに暮らせるまちをつくる

全ての挑戦を支える安全・安心とウェルビーイング

	施策分野	取組の方向性
15	脱炭素・循環型社会の構築と気候変動への適応	①省エネルギーや再生可能エネルギーの導入等の脱炭素の取組を進め、気候変動の緩和を図るとともに、渇水対策をはじめとする気候変動の影響への適応に取り組む。 ②あわせて、廃棄物の発生抑制や再使用、再資源化を進め、資源循環の仕組みを構築する。 ③さらに、環境負荷の軽減を経済成長や産業競争力の強化につなげ、経済と環境が好循環する持続可能な社会の実現を目指す。
16	自然との共生と快適な環境の形成	①豊かな自然を次世代へ継承するため、生物多様性の保全や自然環境の保護を進め、人と自然が調和する地域づくりを推進する。 ②あわせて、大気・水・土壌環境の保全等を進め、安心して健康に暮らせる快適な生活環境を形成する。
17	防災・減災と県土強靱化	①これまでの災害からの復旧・復興に取り組む。 ②あわせて、施設整備などのハード対策と、避難体制や防災情報の的確な伝達などのソフト対策を一体的に進め、激甚化する災害から県民の命と暮らしを守る強靱な県土を構築する。

柱4 安全・安心で、心豊かに暮らせるまちをつくる

全ての挑戦を支える安全・安心とウェルビーイング

	施策分野	取組の方向性
18	文化芸術の力によるウェルビーイングの向上	①県民が日常生活の中で文化芸術に親しみ、豊かな感性や創造性を育むことができる環境を整える。 ②あわせて、次代を担うアーティストや文化芸術活動を支える人材を育成し、文化芸術の力により、地域のつながりや創造性を高め、県民一人ひとりが生きがいや幸せを実感できる社会を実現する。
19	スポーツの力によるウェルビーイングの向上	①県民が日常生活の中でスポーツを楽しみ、心身の健康増進や生活の質の向上につなげることができる環境を整える。 ②あわせて、スポーツを通じた交流、感動、地域活動への参加を促し、指導者や地域スポーツを支える人材を育成することで、スポーツの力で地域を元気にし、県民一人ひとりが生きがいや幸せを実感できる社会を実現する。
20	安全で安心して暮らせる地域づくり	①暴力団壊滅、飲酒運転撲滅、性暴力根絶、特殊詐欺対策など、県民の安全・安心を脅かす諸課題への対策を強力に推進する。 ②あわせて、交通安全や地域での見守り等を進め、安全で安心して暮らせる地域環境を実現する。